

# 令和7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

## イボダイ太平洋中・南部

対象水域	太平洋中・南部	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、千葉県水産総合研究センター、神奈川県水産技術センター、静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場、愛知県水産試験場、徳島県農林水産総合技術支援センター水産研究課、高知県水産試験場、宮崎県水産試験場
------	---------	-------	--

- ・ 令和6年度資源評価調査報告書を公表済み（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends\\_2024\\_127.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_127.pdf)）、次回令和9年度を予定

### (1) 調査の概要

- ・ 機構は生物情報収集調査および太平洋中部・南部沖合底びき網漁業漁場別漁獲統計（以下、「沖底統計」という）による漁獲統計調査を実施
- ・ 各県は漁獲統計調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

### (2) データ収集状況

- ・ 千葉県では2004～2024年の主要漁協の漁獲量および銚子海域の沖底標本船CPUE、1991～2024年の東京湾小型底びき網（以下、「小底」という）CPUEを収集済み
- ・ 神奈川県では相模湾側3港、東京湾側1港において2015～2024年の漁獲量を収集済み、2025年以降の漁獲量を収集中
- ・ 静岡県では1997～2024年の伊豆半島東岸大型定置網7ヵ統の漁獲量を収集済み、本種の農林水産統計における漁獲量集計は2006年までであるが、定置網漁獲量はこの値と相関が見られるため漁獲量の代表値として2023年以降の漁獲量も収集中
- ・ 愛知県では1986～2024年の主要漁協の漁獲量を収集済み
- ・ 徳島県では播磨灘側の1港、紀伊水道側の2港で2005～2024年の小底の漁獲量、操業隻数、CPUEおよび周辺情報を収集済み
- ・ 高知県では2010～2024年の主要漁協の漁獲量を収集済み
- ・ 宮崎県では2006～2024年の主要漁協の漁獲量を収集済み
- ・ 機構では太平洋中・南部の沖底について1980～2024年の沖底統計から漁獲量および努力量に関する情報を収集済み、2024年以降の沖底漁獲成績報告書から漁獲量、努力量に関する情報を収集、解析中

(3) 生物学的特性

- |   |
|---|
| (1) 分布・回遊：令和 6 年度資源評価調査報告書を参照 ( <a href="https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_127.pdf">https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_127.pdf</a> ) |
| (2) 年齢・成長：同上  |
| (3) 成熟・産卵：同上  |
| (4) 被捕食関係：同上  |

(4) 備考

特になし
------